

夏休み中の子どもの学びの場づくり

約1か月間の夏休みの間、小中学生は家庭や地域など、社会の中で学ぶ機会が増えます。市内の公民館やコミュニティセンター等では様々な体験のプログラムを実施しています。また、学校の宿題や自主学習のサポートも行っています。

地域住民が子どもたちの学びを支える「地域の中の学びの場」を御紹介します。

～夏季休業中の学習会（山寺小中学校運営協議会）～

令和6年度から山寺小中学校の児童生徒を対象に、学校運営協議会が主催となって開催しています。今年度は夏休み中に4回開催しました。第1回の8月1日（金）、中学2年生と3年生の生徒が山寺コミュニティセンターに訪れ、およそ2時間、夏休みの学習や自主学習に取り組みました。

サポートするのは、山寺小中学校に勤務したことがある元教員、「山寺を愛する教師の会」の方々です。「当時、保護者や地域の方々にお世話になりました。本当に感謝しています。学習会は恩返しのつもりでやっています。」「子どもの成長を見ることが楽しみになっています。」「学校ではなく地域で行うことで先生方の負担減につながるのではないかと思います。」と話していました。「私たちは山寺の応援団」と言うメンバー全員が温かい目で子どもたちを見守っていました。

～夏休み寺子屋塾（江南公民館・退職公務員連盟）～

退職公務員連盟で15年ほど前から寺子屋塾を開催し、平成29年度から江南公民館との共催事業として長期休業中に開催しています。今回が39回目になります。市内から7名の元小学校の教員が参加し、子ども達の交流の場づくりと学習サポートを行いました。

「夏休みはどんなことをするの?」という問いかけに、ある女の子は「地域の夏祭りで太鼓の演奏をします。今練習をしています。」と話しました。

学習開始からおおよそ50分、ちょうど子どもたちに疲れが見え始めたタイミングで、折り紙や画用紙を使った工作タイム、「箱づくり」が始まりました。子どもたちは集中力を取り戻し、夢中になって取り組みました。

～2025 寺子屋塾（高瀬コミュニティセンター）～

コミュニティセンターの事業として昨年度から開催しています。今年度は8月12日（火）にたかせっこクラブ（放課後児童クラブ）を中心に22名の子どもたちが参加しました。サポートするのは地域に住む2名の元小学校の教員と2名の中学生ボランティア（第三中学校、高楯中学校）です。

前半は夏休みの宿題などに取組み、後半は、昨年から地域に住んでいるタイ出身の方との交流を楽しみました。子どもたちはタイ語のあいさつやじゃんけんに挑戦し、タイのおやつを食べながらタイの暮らしについて学びました。

サポートとして参加した元小学校教員は「子どもたちが真剣に、集中して学習する様子に感心しました。外国人との接点が少ない高瀬地区の子どもたちが、身近なところで国際交流ができました。小学生と中学生の交流も大事にしていきたいです。」と話していました。

～夏休みコミセンで宿題をしよう（西山形コミュニティセンター）～

コミュニティセンターの事業として、夏休み中に2回開催しました。2回目の8月22日（金）は全校児童のおよそ6割の子どもが参加しました。とかみこどもクラブ（放課後児童クラブ）がコミュニティセンター内に設置されており、参加者のほとんどはクラブに在籍している子どもたちです。地域に住む元小学校の教員3名が宿題や自主学習をする子どもたちをサポートしました。

参加した5年生の女の子は「今まで何回も参加しています。先生の顔を覚えたので、地域で会ってもわかります。先生たちは優しいので質問しやすいです。教えてもらうとよくわかります。」と話していました。

もともと学習会はコミュニティセンターと地域住民によって行われていました。西山形小学校がコミュニティ・スクールになった現在は「地域学校協働活動」として実施しています。学校運営協議会等で学校と情報を共有しています。

このような取組によって、子どもたちはもちろん地域や学校にもよい効果が生まれることが期待できます。地域と学校が連携しながら、「学校を核とした地域づくり」を進めていただければと思っています。

社教ニュースときたまごのバックナンバー及び山形市における「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」については、こちらからご覧ください。

